

2024（令和6）年度

城西大学動物実験自己点検・評価報告書

2025（令和7）年 7月 31日

城西大学動物実験管理自己点検評価委員会

本報告書は、城西大学動物実験規程第 12 章（自己点検・評価・検証）第 45 条に基づき、城西大学動物実験管理自己点検評価委員会が作成したものである。

作成日：2025（令和 7）年 7 月 31 日

作成者：一色恭徳（委員長）、中谷祥恵（副委員長）、和田政裕（委員）、石黒直哉（委員）、内田昌希（委員）、五十嵐庸（委員）

動物実験に関する自己点検・評価報告書

城西大学

2025年7月

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>城西大学動物実験規程</p> <p>城西大学における動物実験の適正な実施に向けたガイドライン</p> <p>城西大学動物実験委員会 審査手順書</p> <p>城西大学動物実験規程 別紙 (1) 城西大学における動物実験組織図</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」に則って、機関内規程(城西大学動物実験規程、平成 19 年 10 月 12 日制定・施行、令和 5 年 4 月 1 日一部改正)が定められており、適正であると判断できる。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は見当たらない。</p>

## 2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>城西大学動物実験規程</p> <p>薬学部動物管理委員会規程</p> <p>理学部動物管理委員会規程</p> <p>生命科学研究センター運営委員会規程</p> <p>動物実験関連委員会委員名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>基本指針に適合する動物実験委員会の下、動物実験管理委員会、各種関連委員会が組織され、適正に運営されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は見当たらない。</p>

## 3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>城西大学動物実験規程</p> <p>城西大学における動物実験の適正な実施に向けたガイドライン</p> <p>城西大学動物実験委員会 審査手順書</p> <p>動物実験に関する書式（書式 1～書式 10）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験は城西大学動物実験規程に従って実験計画の立案（動物実験計画書、書式 1）、審査、手続きを経て、適正に実施される体制になっている。また、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」に準じた、動物実験計画書の改訂（2025 年 1 月）がなされ、動物実験の適正実施に向けた改善が図られている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は見当たらない。</p>

#### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>城西大学動物実験規程</p> <p>城西大学における動物実験の適正な実施に向けたガイドライン</p> <p>城西大学遺伝子組換え実験安全管理規程</p> <p>薬学部安全マニュアル、理学部安全マニュアル</p> <p>城西大学薬学部 放射線障害予防規程</p> <p>向精神薬試験研究施設設置者登録証</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験に関連する様式や手続きやマニュアル等が定められ適切に管理されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は見当たらない。</p>

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>書式 4 飼養保管施設設置承認申請書</p> <p>書式 5 実験室設置承認申請書</p> <p>書式 6 飼養保管施設廃止届</p> <p>書式 7 実験室廃止届</p> <p>書式 9 飼養保管施設（変更・追加等）申請書</p> <p>書式 10 実験室（変更・追加等）申請書</p> <p>実験動物施設利用の手引（生命科学研究センター、薬学部動物施設、理学部動物施設）</p> <p>城西大学 実験動物逸走防止及び逸走時の対応マニュアル</p> <p>緊急時の対応マニュアル</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>飼養保管施設の設置、変更、廃止に関する要件および確認に必要な書式類が規程に定められており、各飼養保管施設の実験動物管理者により適切に管理されている。また、実験動物施設利用の手引において、生命科学研究センター、薬学部動物施設、理学部動物施設の飼育管理や運用について定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は見当たらない。</p>

## 6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>総括管理（動物実験委員会）、施設管理（動物実験管理委員会並びに各学部動物実験管理委員会）及び自己点検評価委員会と分けて運営している。</p>
---

## II. 実施状況

## 1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>城西大学動物実験規程</p> <p>城西大学動物実験委員会 審査手順書</p> <p>動物実験委員会会議録・活動報告</p> <p>動物実験管理委員会議事録・活動報告</p> <p>飼養保管施設の維持管理状況（視察結果等）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>城西大学動物実験規程等に基づき、学長の諮問機関として動物実験委員会が開催され、動物実験計画書等が指針、規程等に適合しているか審議が行われた。なお、動物実験委員会の開催前に動物実験管理委員会において、動物実験計画書等が適切であるか判断が行われており、審査手順書に基づいた活動が行われている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は見当たらない。</p>

## 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験委員会会議録</p> <p>動物実験管理委員会議事録</p> <p>城西大学動物実験委員会 審査手順書</p> <p>書式 1 動物実験計画書</p> <p>書式 2 動物実験結果報告書</p> <p>書式 3 動物実験計画（変更・追加）承認申請書</p> <p>書式 8 動物実験終了・中止報告書</p> <p>動物実験の自己点検票（様式 2-1）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p>

動物実験計画書等を審査し、学長の承認を得た。また、2024 年度に実施されたすべての動物実験計画について動物実験結果報告書および動物実験の自己点検票が提出され、動物実験の実施状況の把握がされている。しかし、「予定通り実施」報告を受けた実験においても使用動物数の顕著な減少に至った事例が 2 例ある。動物実験委員会による審査基準の再確認と動物実験責任者に向けた報告義務事項の徹底を要する。

#### 4) 改善の方針、達成予定時期

講習会において、動物実験の実施計画と報告の適正化を申請者に促し、周知徹底を図る。

### 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

#### 1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

#### 2) 自己点検の対象とした資料

城西大学動物実験規程  
 城西大学遺伝子組換え実験安全管理規程  
 圧力容器定期自主検査表（大型、小型）  
 安全管理に注意を要する動物実験計画書一覧  
 動物実験の自己点検票（様式 2-1）  
 遺伝子組換え実験に関する定期報告書  
 実験動物飼養施設報告書（生命科学研究センター）

#### 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

組換え DNA 実験安全委員会では、遺伝子組換え実験の申請時に法令に適合した P1A 動物施設を使用すること確認している。また、動物実験の自己点検票や動物実験結果報告書、遺伝子組換え実験に関する定期報告書により該当実験について事故や問題等の報告はされていない。また、生命科学研究センターの空調機更新工事に伴う組換え実験動物の移動においても、飼育環境の維持と安全性が確保された旨の報告を受けており、適切に実施されたものと評価する。

#### 4) 改善の方針、達成予定時期

改善すべき点は見当たらない。

### 4. 実験動物の飼養保管状況

#### 1) 評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>実験動物施設利用の手引（生命科学研究センター、薬学部、理学部）</p> <p>実験動物飼養管理業務標準手順書（生命科学研究センター）</p> <p>SPF モニタリング検査成績（生命科学研究センター）</p> <p>動物施設環境検査実務報告書（生命科学研究センター）</p> <p>作業点検日報</p> <p>実験動物飼養保管状況の自己点検票</p> <p>実験動物飼養施設報告書</p> <p>実験動物の飼養保管状況一覧</p> <p>飼養保管施設の維持管理状況（視察結果等）</p> <p>2024 年度外部検証結果報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>実験動物飼養施設報告書により、下記報告を受けた。</p> <p>16、21 および 22 号館：一部の利用者による餌切れ等が発生した。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>実験動物管理者により、実験動物が適切に飼養保管されている。しかしながら、外部検証結果報告書の指摘事項にもあるように、16、21 及び 22 号館において一部の利用者による餌切れ・水切れ等が発生したため、当該利用者に注意を促したことが報告されている。指摘後の飼育状況は改善されているものの、実験動物の適切な飼養保管のため、今後も利用者に対して注意喚起を続けていくことが必要と考える。</p>

## 5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>書式 4 飼養保管施設設置承認申請書</p> <p>飼養保管施設一覧</p> <p>実験動物飼養保管状況の自己点検票</p> <p>飼養保管施設の維持管理状況（視察結果等）</p> <p>入退室記録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>施設の設置時に動物実験規程にて定められた設置基準を満たしていることを動物実験委員会が確認している。また、毎年提出される実験動物飼養保管状況の自己点検票を受けて、動物実験委員会が</p>

<p>視察を行い、施設が適正に維持されていることを確認している。</p> <p>2023 年度自己点検・評価に基づく改善・更新対象となっていた、生命科学研究センターの空調機の更新が完了し、該当施設の指摘事項への対応は適切に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は認められない。</p>

## 6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>教育訓練開催通知</p> <p>教育訓練プログラム</p> <p>教育訓練資料（動画・スライド）</p> <p>教育訓練受講者名簿</p> <p>実験動物管理者の教育訓練受講修了証・回覧記録</p> <p>動物実験委員会会議録・活動報告</p> <p>動物実験管理委員会議事録・活動報告</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>実験動物管理者については、実験動物管理者の代表者が公私立大学実験動物施設協議会主催の「実験動物管理者の教育訓練」を受講し、他実験動物管理者等に情報共有を行うことで専門情報を習得している。動物実験実施者に対し、基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。また、対面での開催および確認テストの改善により、実施許可基準の強化が図られ、適正実施に向けた対応が維持されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善すべき点は認められない。</p>

## 7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>城西大学動物実験自己点検・評価報告書</p> <p>動物実験委員会ホームページ (<a href="https://www.josai.ac.jp/jikken/animalexam/">https://www.josai.ac.jp/jikken/animalexam/</a>)</p>

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験管理自己点検評価委員会を介して実施し、城西大学における動物実験について自己点検が実施されている。また、城西大学動物実験委員会のホームページにて、城西大学動物実験自己点検・評価報告書をはじめとした城西大学における動物実験に関する情報を公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善すべき点は見当たらない。

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

該当事項は見当たらない。
--------------

2024(令和6)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種	動物申請数、使用数										研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)		実験の結果				中止	使用数 <sup>0</sup> のもの			
	ウサギ		ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*					
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続			終了		
JU 24001			60	84													△				
JU 24002			104	28	48	12											▽▽				
JU 24003					612	216					1		学会発表				▽				
JU 24004					386	150											▽				
JU 24005					240	104					1		学会発表				▽				
JU 24006			160	32							1		学会発表				▽				
JU 24007			328	80							2		学会発表					▽			
JU 24008			36	36								1	作成中	○							
JU 24009			45	45									卒業研究課題	○							
JU 24010			36	46									卒業研究課題				△				
JU 24011			48	48										○							
JU 24012			60	60										○							
JU 24013			38	0									中止						1	1	
JU 24014					80	80								○							
JU 24015					80	80								○							
JU 24016					60	60								○							
JU 24017					154	39					1		学会発表予定				▽				
JU 24018			78	78							1		学会発表予定	○						1	
JU 24019			80	64																1	
JU 24020					64	29					1		学会発表						▽		
JU 24021			12	0																1	
JU 24022			30	0													▽			1	
JU 24023			20	0	40	0											▽▽			1	
JU 24024			4	0													▽			1	
JU 24025			138	138	576	576	64	0					実習教育				○○▽			1	
JU 24026					60	36							HP公開				▽				
JU 24027			96	96							2	1	卒業研究課題	○							
JU 24028			96	0	120	5											▽▽			1	
JU 24029			72	72	108	0							卒業研究課題				○▽			1	
JU 24030					48	24						1	論文	▽	▽						
JU 24031			4	0																1	
JU 24032			260	260							1		卒業研究課題	○							
JU 24033					200	200							卒業研究課題	○							
JU 24034			150	144									卒業研究課題	○							
JU 24035					120	94					1		卒業研究課題				▽				
JU 24036					60	0							中止							1	1
JU 24037			30	0	30	0											▽▽			1	
JU 24038			18	12															▽		
JU 24039			88	72	190	190								▽○							
JU 24040					24	12													▽		
JU 24041					24	8						1	論文投稿予定						▽		
JU 24042					45	12					1						▽				
JU 24043					184	24					1						▽				
JU 24044					48	12					1										
JU 24045			40	0													▽			1	

2024(令和6)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種	動物申請数、使用数										研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)		実験の結果				中止	使用数 <sup>0</sup> のもの	
	ウサギ		ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上发表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*			
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続			終了
JU 24046			60	10								1	論文投稿予定				▽		
JU 24047			60	8								1	論文投稿予定				▽		
JU 24048					20	10						1	論文投稿準備中	▽					
JU 24049					235	121					1		卒業研究課題				▽		
JU 24050			339	339									胎児含む	○					
JU 24051			30	30								1	論文	○					
JU 24052			54	52										○					
JU 24053			40	40															
JU 24054			223	11	0	5							申請時胎児利用記載(報告済)				▽△		1
JU 24055					200	200					1		学会発表	○					
JU 24056			20	0	360	120					1		学会発表				▽▽		1
JU 24057					360	48							卒業研究課題				▽		
JU 24058					360	332					1		学会発表	○					
JU 24059			110	94										▽					
JU 24060			96	96								1	他大学論集掲載予定	○	○				
JU 24061			42	42								1	他大学論集掲載予定	○					
JU 24062					288	18													▽
JU 24063					144	24					2	1	国際紙投稿予定				▽		
JU 24064					144	24					1	1	国際紙投稿予定				▽		
JU 24065					268	243					1		卒業研究課題	○					
JU 24066					64	30											▽		
JU 24067					45	0													
JU 24068			75	75							1		修士・卒業研究課題	○					
JU 24069			44	44									修士研究課題	○	○				
JU 24070			80	100									修士研究課題						
JU 24071			30	0								1	国際紙投稿予定				▽		1
JU 24072					84	24							修士研究課題				▽		
JU 24073			48	36	60	60											▽○		
JU 24074					50	0											▽		1
JU 24075					48	38											▽		
JU 24076			160	0													▽		1
JU 24077					60	42					1		学会発表					▽	
JU 24078			20	42														△	
JU 24079							148	148							○				
JU 24080							36	36							○				
JU 24081					4	0												▽	1
JU 24082					4	0												▽	1
JU 24083					8	4												▽	
JU 24084							8	8							○				
JU 24085									180	180		1	投稿準備中	○	○				
JU 24086									150	150		1	投稿準備中	○	○				
JU 24087					14	3												▽	
JU 24088			0	8	110	0							個体種変更				△▽		1
JU 24089			30	45								1	論文投稿予定					△	

2024(令和6)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種	動物申請数、使用数										研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)		実験の結果							
	ウサギ		ラット		マウス		両棲類		魚類		学会発表	誌上発表	備考	計画どおり実施		一部変更・追加して実施*		中止	使用数 <sup>0</sup> のもの	
	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数				継続	終了	継続	終了			
JU 24090					40	0											▽			1
JU 24091			24	0													▽			1
JU 24092			18	0									中止						1	1
JU 24093			12	0									中止						1	1
JU 24094			12	12																
JU 24095					80	65							卒業研究課題		○					
JU 24096			12	0	72	27							卒業研究課題		▽		▽▽			1
JU 24097					20	10					1		学会発表						▽	
JU 24098	6	6			20	10						1	論文投稿予定							
JU 24099					40	0							中止						1	1
JU 24100					48	28							修士研究課題							
JU 24101					60	49							修士研究課題							
計	6	6	3770	2479	6911	3498	256	192	330	330	26	17							5	0

\* 「計画どおり実施」、「一部変更・追加して実施」の「▽」は申請数に対する使用数が10%以上減少、「○」は申請数に対する使用数の増減が10%未満、および「△」は申請数に対する使用数が10%以上増加を示す。

動物実験申請総数:105件

中止件数:5件 総使用動物数:6425頭 学会発表数: 26 件 誌上発表: 17報

## 2024年度 動物実験委員会活動報告書

委員会メンバー：木村光利（委員長）、清水純（副委員長）、小林順、北川浩子、高木豊、森田勇人、茂木肇、中田博之、鈴木研太（外部委員）、須長陽子（外部委員）、三橋秀行（事務局）、玉井彩子（事務局）、星野雅文（事務長）

### 1 2024年度の動物実験委員会活動計画

- 1) 2024年度の動物実験管理委員会への動物実験実施計画書の募集を依頼
- 2) 定期的な動物実験実施計画書の審査を実施
- 3) 臨時の動物実験実施計画書の募集とその審査を実施
- 4) 動物実験管理委員会へ動物実験実施報告書の提出を依頼
- 5) 動物実験管理委員会へ新規実験室設置承認申請書の提出依頼と調査の実施依頼
- 6) 動物実験に関する外部検証第2期プログラムの受審

### 2 2024年度の動物実験委員会活動報告

(1) 外部委員出席の下で、動物実験施設設置（変更）の承認および定期的な動物実験実施計画書の審査を実施した。

1) 第1回 日時：2024年4月8日、13時30分～14時20分、於：清光会館1階第1会議室

・実験施設設置承認許可（新規・変更・廃止等）申請書（変更：承認番号08006、18102、08097、LH27002）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全ての施設に関し承認された。

・実験計画申請書類数 99 件（受付番号 06001～06099）（内新規動物実験実施計画書 10 件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を、新規の C と D を中心に審査を実施し、全ての計画書に関し承認された。

計画書の内訳ランク A 0 件、B 18 件、C 16 件、D 65 件

2) 第2回 日時：2024年10月7日、10時00分～10時30分、於：薬学部1階会議室

・飼養保管施設（変更・追加等）申請書（変更：承認番号 F2901）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、承認された。

・動物実験計画書に関し、変更届（承認番号 JU24070、24061、24065 3 件）、および新規申請書（受付番号 06100、06101 2 件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

新規申請書内訳ランク A 0 件、B 0 件、C 0 件、D 2 件

(2) 動物実験管理委員会から提出された 2023 年度の動物実験実施報告書の審査を実施した。

日時：2024年4月8日、13時30分～14時20分、於：清光会館1階第1会議室

実施報告書 102 件（承認番号 JU23001～JU23102）（102 件）が提出された。

本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

(3) 動物実験に関する外部検証第2期プログラムの受審

日時：2024年11月18日、12時45分～17時30分、於：23号館2階210室（講義室10）

日本実験動物学会の訪問調査員3名により動物実験に関する外部検証第2期プログラム訪問調査が行われ、本学動物実験実施体制の適合性等について評価を受け、その受審結

果を3月17日に本学HP上で公表した。

### 3 2024年度の動物実験委員会活動の自己評価

報告書の提出・審議状況より、年度当初の活動計画1)～6)を適正に実行できたものと考えられる。

### 4 その他

#### 1) 2024年度「動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」について

集合研修により実施した。(参加者 354名)

第1回 日時:2024年4月26日(金)15:00～17:00

第2回 日時:2024年5月11日(土)10:00～12:00

#### 2) 2024年度「飼養保管施設の維持管理状況」について

動物実験委員会委員により視察が行われ、施設は適正であった。

#### 3) 2024年度「動物実験室の自己点検」調査について

「動物実験室の定期的な点検」に対応するため、現在、動物実験室の責任者による自己点検を実施した。

#### 4) 2024年度「実験動物慰霊式」について

2024年度「実験動物慰霊式」を対面および個別参拝により実施し、実験に供された動物への感謝をこめて供養を行った。(参加者 221名)

日時:2025年3月7日(金)

#### 5) 非医薬品グレードのペントバルビタール調整・使用マニュアルについて

動物実験に関する外部検証第2期プログラムでの指摘を受け、「非医薬品グレードのペントバルビタール調整・使用マニュアル」を作成し、研究者へ周知を行った。

以上

2025年4月15日(月) 木村 光利 (委員長)、玉井 彩子(事務局)

2024 年度動物実験管理委員会活動報告

委員会名	動物実験管理委員会
メンバー	委員長 須永、副委員長 河合、岡崎、田中享、大島（新）、菊地、岩田、佐野、望月（JAC）
会議回数	3 回（メール会議 2 回含）
年度初めの計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育・訓練の実施 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同にて実施</li> <li>2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出および加筆訂正</li> <li>3. 2024 年度動物実験結果報告書の作成依頼および加筆訂正</li> <li>4. 2025 年度動物実験計画書等の作成依頼</li> <li>5. 動物慰霊式の開催 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同</li> <li>6. 2024 年度動物実験結果報告書、2025 年度動物実験計画書等の提出 → 動物実験委員会へ</li> </ol>
実施状況結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 動物実験委員会、生命科学研究センターおよび薬学部動物管理委員会との合同で、2024 年度「動物実験に関する教育訓練及び動物施設利用説明・講習会」を対面にて実施した。講習内容の理解を促すために終了後に Forms にて確認テストを実施した。</li> <li>2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出を依頼し（7 月）、加筆訂正後、動物実験委員会に提出した（9 月）。</li> <li>3. 2024 年度動物実験結果報告書の作成を依頼し（2025 年 1 月）、加筆訂正した（2025 年 3 月）。報告書の加筆修正が必要となった書類については、修正内容が確認できるように修正前の書類を保存した。</li> <li>4. 2025 年度動物実験計画書等の作成を依頼し（2025 年 1 月）、加筆訂正した（2025 年 3 月）。計画書の加筆修正が必要となった書類については、修正内容が確認できるように修正前の書類を保存した。</li> <li>5. 動物実験委員会から依頼のあった動物慰霊式を実施した。 日時：2025 年 3 月 7 日（金） 15：30～15：50 場所：23 号館 209 教室 参加者：221 名（記帳 62 名を含む）</li> <li>6. 2024 年度動物実験結果報告書、2025 年度動物実験計画書等を動物実験委員会へ提出した（2025 年 3 月）。</li> </ol>
活動の評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概ね滞りなく実施できた。</li> <li>2. 報告書および計画書の修正内容の記録のため、修正前の書類を保存するように審査過程を変更したが、原本と取り違えるケースが生じたため、次回からは、はじめに提出された書類の一覧を作成した後に審査を行うなど工夫が必要と思われる。2025 年度委員会にて検討する必要がある。</li> </ol>

## 2024（令和6）年度 動物実験管理自己点検評価委員会活動報告

委員会名	動物実験管理自己点検評価委員会
委員	委員長 和田政裕 副委員長 一色恭徳 委員 石黒直哉 内田昌希 五十嵐庸 中谷祥恵
会議回数	3回（メール会議）
実施状況と結果	<p>（1）各実験動物委員会報告を受け、取りまとめと評価について会議を実施した。本委員会は、全学動物実験管理委員会委員長からの指示により、2024（令和6）年度 城西大学動物実験自己点検・評価報告書を学長へ提出した。</p> <p>（2）2025年度の本委員会委員長ならびに副委員長の互選を実施した。全委員の信任を受け、一色恭徳教授を委員長に、中谷祥恵准教授を副委員長に選出した。</p>
活動の評価	城西大学動物実験自己点検・評価報告書の作成は、予定通りにおこなうことができた。

2022（令和4）年度 第1回 動物実験管理自己点検評価委員会（メール会議）議事録

審議者 和田 一色 内田 中谷 五十嵐

期 間 2022（令和4）年6月11日～2022（令和4）年6月16日

議案

1. 2021（令和3）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について  
2020（令和2）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について、メール会議により審議をおこない、原案通り承認された。

以上

2025年 7月 24日

## 2024年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	16号館動物室
2 管理者氏名	夏目 秀視
3 実験動物管理者氏名	菊地 秀与
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	2024年7月2日(火)に空調機器保守等の実施
5 消毒作業	2024年7月3日(水)より2日間で実施
6 設備の設置・修繕	2024年12月23(月)に空調システムエラー発生 (営繕課対応で修理)
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が 維持された。引き続き飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止す る、利用者のマナー向上にむけた注意喚起等を行うことで、適 正利用を推進していきたい。

2025年 7月 2日

## 2024年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	21号館動物室
2 管理者氏名	夏目 秀視
3 実験動物管理者氏名	八巻 努
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	
5 消毒作業	7月10日(水)より2日間で実施。
6 設備の設置・修繕	特になし
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	一部の利用者において、餌切れ・水切れ等が複数回発生して いた。
9 自己評価・報告等	多くの利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養 環境が維持されたが、一部の利用者において、餌切れ・水切 れが複数回発生しており、当該利用者には注意を促した。今 後も飼育(給餌や床がえ)の怠慢等を防止する、マナー向上に むけた注意喚起等を行うことで、適正利用を推進していく。

2025年 6月 30日

## 2024年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	22号館実習用動物保管庫、
2 管理者氏名	夏目 秀視
3 実験動物管理者氏名	一色 恭徳
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	7月5日(金)と12月6日(金)の2回にわたり、空調機器保守 等を実施
5 消毒作業	7月8日(月)より2日間で実施
6 設備の設置・修繕	12月5日(木) IVC 空調コントローラー異常により給気停止、 システムケーブルの交換により復帰、その後異常なし。飼育動 物への影響なし。
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	特になし
9 自己評価・報告等	利用者の適正利用により年間を通して概ね良好な飼養環境が 維持された。飼育(給餌や床がえ)の怠慢が認められたので、 利用者のマナー向上にむけた注意喚起等を行うと共に、次年 度講習内容の改訂を図り、適正利用を推進する。

2025年 6月 30日

## 2024年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	理学部動物室
2 管理者氏名	飯田 正敏
3 実験動物管理者氏名	森田 勇人
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・ モニタリング検査も記入	マウス室及び水棲生物室共に清掃、各フィルターの交換等適 宜行われていた。
5 消毒作業	2024年10月に行い、問題無いとの報告があった。
6 設備の設置・修繕	水棲生物室(23-613)に新たに集合水槽1台を設置した。
7 事故(動物の施設外逸走 や動物による危害等)の有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入
8 その他、飼養保管に際し て生じた問題等	問題はなかった。
9 自己評価・報告等	利用者は動物室の使用ルールを遵守して利用していた。ま た、動物運搬では配布された収納バックにより運搬していた。

## 2024年度 実験動物飼養施設報告書

1 飼養保管施設の名称	生命科学研究センター																				
2 管理者氏名	岡崎 真理																				
3 実験動物管理者氏名	木村 光利																				
4 保守・点検 ※生命科学研究センターは環境検査・モニタリング検査も記入	<p>[環境検査](原則年3回実施)</p> <table> <tr> <td>6月</td> <td>5日</td> <td>異常なし</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>23日</td> <td>異常なし</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>26日</td> <td rowspan="2">異常なし(5消毒作業と同時進行)</td> </tr> <tr> <td>2025 4月</td> <td>7日</td> </tr> </table> <p>[SPFヘアレスラットモニタリング検査](原則年3回実施)</p> <table> <tr> <td>5月</td> <td>28日</td> <td>異常なし</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>24日</td> <td>異常なし</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>4日</td> <td>異常なし</td> </tr> </table> <p>[保守点検]</p> <p>2月5日 オートクレーブ(大型・小型)保守点検・装置部品交換 ※空調機の保守点検は実施せず(空調機更新工事实施のため)</p>	6月	5日	異常なし	10月	23日	異常なし	3月	26日	異常なし(5消毒作業と同時進行)	2025 4月	7日	5月	28日	異常なし	9月	24日	異常なし	2月	4日	異常なし
6月	5日	異常なし																			
10月	23日	異常なし																			
3月	26日	異常なし(5消毒作業と同時進行)																			
2025 4月	7日																				
5月	28日	異常なし																			
9月	24日	異常なし																			
2月	4日	異常なし																			
5 消毒作業	<p>2025年3月18日～3月28日</p> <p>※再消毒実施 2025年4月14日まで</p>																				
6 設備の設置・修繕	<p>[修繕]</p> <p>8月 21日 電灯タイマー故障修理 5階 SPF 飼育室 3 1月 6日 空調設備更新工事(3月15日まで)</p> <p>※空調機更新工事期間中に下記の修繕を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災報知器のベルの増設 5階 SPF</li> <li>・蛇口の修理 4階洗浄室</li> <li>・錆び、腐食等の修繕 SPF 飼育室 1,2,3等</li> <li>・水漏れ修理 4階 409室前室、飼育室 3,4</li> <li>・コンセント修理 4階実験室1</li> <li>・手洗器水栓改修 飼育室 2,3,7、SPF 飼育室前室等</li> <li>・吸気口ガラリ修理 SPF 飼育室1</li> <li>・パスルーム扉の錆落とし 5階洗浄室</li> <li>・飼育室ドアクローザー修理 SPF 飼育室 1, 2等</li> <li>・飼育室ドア枠のゆがみ修理 4階パスルーム、洗浄室・壁、</li> </ul>																				

	<p>・壁、床のコーキング補修 4階パスルーム、飼育室7、実験室1,2等          ・ドアの動作不良修理 4階飼育室廊下</p> <p>[整備]</p> <p>4月 17日 108室(検疫室)廃棄物保管庫として整備          5月 10日 小型自動温湿度計 4階、5階用          5月 24日 デジタル温湿度ロガー 4階、5階用          8月 22日 非常用電源増設工事(SPF 飼育室3)          11月 8日 クリーンベンチ(21号館動物室に仮設置)          11月 11日 ディスポージャー100ケージ 3セット          14日 4階飼育室4 ウサギ固定器 搬入</p> <p>2025</p> <p>1月 30日 衣類乾燥機 1台          3月 10日 クリーンベンチ(SPF 飼育室3に設置)</p>
7 事故(動物の施設外逸走や動物による危害等)の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/> 無  <input type="checkbox"/> 有 ※下記に内容を記入</p>
8 その他、飼養保管に際して生じた問題等	<p>特になし</p>
9 自己評価・報告等	<p>1)空調機更新工事関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空調機更新工事に伴い、2024年12月21日～2025年4月14日まで施設利用を停止した。空調機交換工事に関連するトラブルは発生せず、無事に工事は完了した。また、工事期間中に施設内の細かな修繕を実施することができた。</li> <li>● 空調機更新工事期間中は、SPF区域の遺伝子組換えマウスを21号館動物飼育室へ移動して飼育を行った。移設後も遺伝子組換えマウスの健康状態に影響は見られず、予定通り飼育することができた。なお、空調機更新工事後の2025年4月2日、遺伝子組換えマウスは元のSPF区域に移動された。</li> <li>● 例年7月に実施している消毒作業を2025年3月に実施した。なお、消毒作業後の環境検査において4階洗浄室の結果に異常が見られたことから、再消毒が2025年4月14日まで実施された。</li> </ul> <p>2)SPFへアレスラットの繁殖事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長年継続してきたSPFへアレスラットの繁殖事業は、石川実験動物研究所との協議により、12月をもって終了した。</li> </ul> <p>生命科学センターは委託業者(株)ジェー・イー・シー)の適切な管理の下、2024年度も良好な飼育環境を維持することができたと考える。</p>